



公立芽室病院 だより 第69号

ホームページアドレス
http://memuro.com
又は芽室町ホームページのトップページから
アクセスできます。

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会より マンモグラフィ検診施設画像認定施設として認定される

当院は、平成20年12月、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会(注1)から、マンモグラフィ検診を行うに
あたり基準を満たしている施設『マンモグラフィ検診施設画像認定施設』として認定されました。

◆◆◆マンモグラフィ検診施設画像認定とは◆◆◆

乳がん検診には適切に撮影された『質の高いマンモグラフィ』が必要となります。マンモグラフィ検診精度管理
中央委員会は、それを維持するために、医師・放射線技師ならびにマンモグラフィ施設の評価を行い、全国的
統一された認定を行っています。

認定を取得するには、マンモグラフィ装置や、実際に撮影した写真・X線量等が細部にわたり厳格に評価され、
すべての審査をクリアしなければなりません。

つまり、マンモグラフィ検診施設画像認定は、高い水準にある認定読影医(注2)及び認定撮影技師(注3)が在籍し、
乳房撮影の画質、品質管理、被ばく線量が基準値を満たし、乳がん検診の質の高さを認められた施設にだけ与え
られるものです。

◆◆◆当院もマンモグラフィ検診施設画像認定を取得しました◆◆◆

当院ではマンモグラフィ検診施設の認定を受けるべく、ハード面及びソフト面での努力を積み重ねてきました。
平成20年5月にはデジタルマンモグラフィ(乳房X線撮影)の読取装置が更新されました。新しい装置は従来

のものとは比べて高精細な画像出力が可能になり、より微細
な病変が求められるマンモグラフィに適した高精細画像を
実現しています。また、検診に関わる外科医師3名及び診
療放射線技師3名が読影試験に合格し認定されました。そ
の結果、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会より、無
事に施設認定の許認可を得ることができました。

今後もみなさまへ良質な医療の提供と健やかな健康維持
に貢献できるよう努力してまいりますので、お気軽に受診
ください。

なお、当院では外来診療と検診を混合して実施している
ため、ご迷惑をかける場合がありますことをあらかじめご
了承くださるようお願い申し上げます。



マンモグラフィ検診施設
画像認定証



マンモグラフィ装置

(注1) NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
わが国の乳がん検診の精度管理を担う関連の主要6団体で構成され
たNPO法人。マンモグラフィ検診の精度管理について検診し、医師・
放射線技師や検診実施機関・精密検査実施機関、一般住民や患者団体
に対して、教育研修・評価認定事業、検診啓発事業、患者団体との連
携等の事業を全国規模で行い、わが国における精度の高いマンモグ
ラフィ検診の普及、ひいては乳癌死亡数低下のために寄与することを目

的としている。
(注2) 検診マンモグラフィ読影医師
マンモグラフィ精度管理中央委員会が主催する読影試験を受け、認
定された医師
(注3) 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会主催の撮影技術・精度管理
プログラムを受講し、認定試験を受けて認定された診療放射線技師



—マンモグラフィによる乳がん検診を正しく知ってもらうために—

マンモグラフィ あれこれ Q&A

Q乳がんってどんな病気？

A乳房にある乳腺に発生する悪性腫瘍です。

乳がんは乳腺から発生するがんです。乳房は主に乳
腺と脂肪からなっています。乳がんは組織学別レベル
でみると、乳腺実質である乳管や小葉から発生します。

(図)



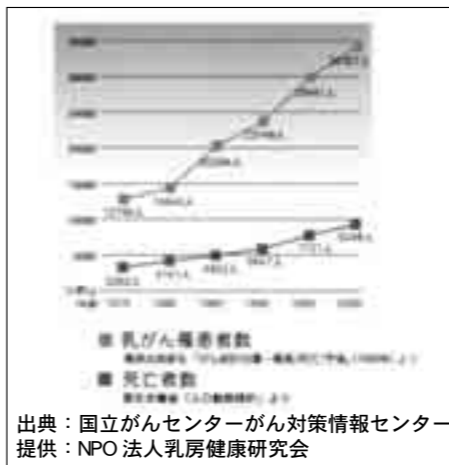
提供：NPO 法人乳房健康研究会

乳がんの症状はさまざまで、しこり、血性乳汁分泌、
乳頭の陥没、皮膚のくぼみ、痛み、わきの下のしこり
などがあります。また、乳がんは、乳房の外側の上部
に最もできやすいといわれています。

Q乳がんになるひが増えているってほんと？

A日本人女性の乳がん患者数や死亡数は、年々
増加しています。

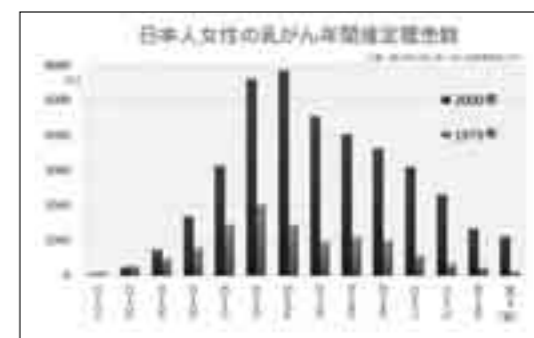
日本における乳がん罹患数(発病した数)は年間4万
人以上と増え続け、女性のがんとして最も多いがんとな
っています。また、乳がんによる死亡数も1万人以上
(2006年)と増え続けています。



出典：国立がんセンターがん対策情報センター
提供：NPO 法人乳房健康研究会

何といっても、日本人女性の乳がんは、若い年齢で
発症することが大きな特徴です。30歳代から増えはじめ、
40歳以上になると急激に増加しています。

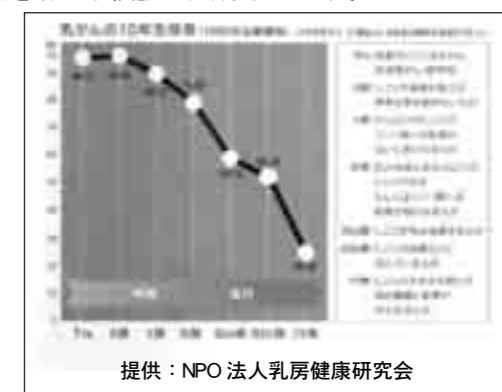
最近では、20歳代の女性にも乳がんが見つかるケー
スが増えており、『若いから大丈夫』という神話はもはや
存在しません。



Q乳がんは早期発見すれば治るの？

A早期なら9割以上が治癒します。早期発見の
ために、定期検診が大切です。

乳がんは治る病気です。ただし、それには早期発見
が鍵を握ります。日本乳癌学会が乳がん患者の10年間の
生存率を調べたところ、超早期のTisと呼ばれる段
階では94.72%、しこりや画像診断(超音波・マンモグ
ラフィ)などで病変部を確認できない0期では95.45%。
ともに約95%の人が生存していました。一方、しこり
の大きさが5センチを超えるIII a期では58.74%、し
こりの大きさを問わず他の臓器に転移が見られるIV期
では25.49%と生存率が下がっています。早期発見・
早期治療のためにも自己検診やマンモグラフィなど
による定期的な検診が大切なのです。



提供：NPO 法人乳房健康研究会

Qマンモグラフィってなに？

A乳房専用のX線装置で乳房を撮影する検査で、
乳房を圧迫して撮影します。

◆専用の装置で撮影します

マンモグラフィ(「マンモ」とは「乳房」を意味する「マン
マ」からきています)は、乳房にX線を当てそのX線
の吸収の差をフィルムに写し出すもので、胸部や骨の
X線検査などと原理はまったく同じです。他の撮影と
大きく違うところは、乳房は全体が柔らかい組織でX
線の吸収差が少ないため通常のX線装置では撮影する
ことが出来ません。そのため、乳房専用のX線装置を
用いる必要があります。マンモグラフィでは、乳腺内